

少年、逢魔が刻スケッチ

song & lyrics / frottageshi

夕陽落ちる迄駆け廻る 膝をスリむいた悪童の
頭の上をスケッチした 飛行機雲の白い絵の具
ボールが見えなくなる頃に 一人また一人帰りだす
オレンジ→紫→青の空 東の果てから夜が来る

いつかそれぞれが 別の街に行っても
僕らここにいた事を 忘れないかな、ねえ？

忘却回想彼方の僕へ 旋回上昇離脱する
前略拝啓いつかの君へ 困惑翻弄涙した

裏道抜け穴通りゃんせ 真っすぐ帰れぬ悪童の
心の底のドグラマグラ 今も続いているかくれんぼ
自分が見えなくなる頃に 一人また一人目覚めだす
このまま変わらずいたいのに 東の果てから朝が来る

やがてそれぞれが 別の街に行ったね
僕らそこにいた事を おぼえてるかな、ねえ？

忘却回想彼方の僕へ 旋回上昇離脱する
年々歳々いつかの君へ 静寂再生感謝して

いつかそれぞれが 別の場所に行っても

忘却回想彼方の僕へ 旋回上昇離脱する
年々歳々いつかの君へ 静寂再生感謝して

何年先も 思い出すから あの風景を
何年経っても楽しくやるよ 君の分まで

夕陽落ちる迄駆け廻る 膝をスリむいた悪童の
影を重ねては見送る僕ら
オレンジ→紫→青の空 東の果てから夜が来る
逢魔が刻に見失う僕ら

銀色に光る車を見て 傷を付けてみたくて
ポケットの中をゴソゴソして 取り出した記念硬貨
ピカピカは誰の物でも無い 小さな拳に握った
カタチにならないモヤモヤした けれど確かなモノさ

惑星の片隅で眠りに就く 朝露が銀色になるまで
僕だけが君を乗りこなす夢を抱き

12時を過ぎて寝返りうつ 枕の隅を握り
ぼんやりと見える海の向こうは 今も諍いの渦
窓の隙間から陽が差し込んで 次に目覚めた朝に
全ての事が夢だったとして 明日は何をしようか？

惑星の片隅で眠りに就く 朝露が銀色になるまで
僕だけが君を乗りこなす…
僕は今ゆっくりと背伸びをする 少しでも大きくなりたくて
僕だけが君を乗りこなす夢を抱き

さよなら忠犬ジュピター

song & lyrics / frottageshi

サイレン鳴り響いて 日暮れの街に立つ
そろそろ行かなくちゃ お別れの時だから

嗚呼 忘れないで…ね あたしの事

一緒に歩いたね 真冬の並木道
これから別々よ 好きなだけ散歩してね

嗚呼 忘れないで…ね あたしの事

嗚呼 思い出して…ね あたしの事

さよなら 淘汰した廃墟の街 錆び付いたモーター
さよなら お利口なジュピター
さよなら 荒れ果てたソドムの市 焼きついたモニター
さよなら さよなら さよなら またいつか

後ろに遠ざかる 乾いた星を見て
恙なく居るように 今はもう祈るだけ

嗚呼 忘れないで…ね あたしの事

さよなら 一時の恍惚だけ 思い出にして
さよなら お利口なジュピター
さよなら 燃え尽きたシディムの谷 揺れるヘルタースケルター
さよなら さよなら さよなら またいつか
さよなら さよなら さよなら またいつか

さよなら さよなら さよなら さよなら
さよなら さよなら さよなら さよなら

夏の思い出と云えば
遅く始まる朝の
ポラロイドを片手に笑ってた
怠惰なる彼の時

夏の陽に照らされて目を閉じる
声が遠くなる
君がほらやってくる足音がするよ

側においでよ
驚かしてみせるよ
そんな感覚のまま 遠ざかる

欠伸を数える君と
西日にまどろむ僕が
刹那さを片手に笑ってた
怠惰なる彼の時

夏の陽に照らされて目を閉じる
声が遠くなる
君がほらやってくる足音がするよ

側においでよ
驚かしてみせるよ
そんな感覚のまま 遠ざかる

吠えよ 現世の死角に潜む使徒の名を
述べよ 伴の無い復路行李の品々を

漕げよ 飛沫立つ四海に進む舟の櫓を
告げよ 羊飼星の巡る理を

ああ 何時しか凧ぐ風波のボレアース
ああ 道を示す羅針盤狂いだす

開放系／孤立系 閉鎖した空間の
全能感／万能感 境界のフーディーニ
開放系／孤立系 交差した空論が
胎蔵界／金剛界 遥かな傍観者

迷探偵アラワル

song & lyrics / frottageshi

足音ニツ聞コエテ 振り返ル夜道ニ
鳥打チ帽モ目深ノ 定メシ名探偵

待チ合ワセシタカフェエニ 待チ飽キタアナタト
耳打チヲシテ飛ビ出ス 混沌ノ遊園地

恋人ノヨウニ振舞ッテミテ
欺コウヨ街ヲ
答エヲ隠シ通セバ 僕ラノ勝チデショウ
二人ノ仲ガ本当ノ ウソノ関係ナラ

回転木馬ハ廻ル 光ノ渦ヲ卷キ
アナタト墮チル夢ナラ 其レモマタ良イデショウ

恋人ノヨウニ振舞ッテミテ
欺コウヨ街ヲ
恋人ノヨウニ振舞ッテミテ
欺コウヨ街ヲ

誘導しても てんで釣れない君は
撃っても効かないバキュラみたいね…。
つまらないわ つまらないわ

隠れたところで 二人でいる時は
当たり判定は少し右下よ
1キャラ分 1キャラ分

震えた声で 闇雲じゅうたん爆撃
メールしてみたたら スペシャルフラッグ出現

交錯する今回り続ける惑星
赤く点滅する照準
逢う度に新たな謎深まる だから
ぼんやり頬杖ついてる

寄せ集めたら ちょっとは喜ぶのかな
期待は膨らむアンドアジェネシス
膨らむの 膨らむの

震えた声で
闇雲じゅうたん爆撃
コールしてみたたら
スペシャルフラッグ出現

膠着する俯かない君の全容が
明らかになるのはいつかな
逢う度に新たな謎深まる だから
ぼんやり頬杖ついてる

頬杖ついて 頬杖ついて 頬杖ついて

今更って思うような どっちつかずのまま
不安そうな腕をぐっと つかんでいられたなら

もつれたままの 夜を飾る
VHS の花束

複雑で楽しくて
不安で狂いそうさ
いつもフリダシに戻り つかずはなれずでいる
僕ら情けなくて 情けなくて

もつれたままの 夜を飾る
VHS の花束

複雑で楽しくて
不安で狂いそうさ
いつもフリダシに戻り つかずはなれずでいる
僕ら情けなくて 情けなくて

マンホールの下の隙間には
幼子等が寄りて暖をとる 街は
聴いたことない筈の 潮騒が
枕にしたパイプに響いてる「夢か、..。」

朝ぼらけ息潜め 帳（とぼり）来て彷徨する

干し草で寝た 故郷思い
帰れぬ今を 好き好きに復讐する 泣いて

マンホールの下の隙間には
幼子等が寄りて暖をとる 街は

朝ぼらけ泣き濡れて 帳（とぼり）来て咆哮する

父親（てておや）に聴いたオルティンドーが
耳に残るも 喧騒に消えて
冬空のような 白い馬乳酒
かき混ぜたように 攪拌されてゆく 僕ら

OVERDRIVE

song & lyrics / frottageshi

両界曼荼羅 押サレテ揺ラレテ 着替エガ済ンダラ 座ルダケ
芥子ノ実コボシテ 頬張ル菓子パン 石積み上ゲテモ 崩スダケ
波間ニ漂ウ 泡ニモ等シク パジャマニ着替エテ 眠ルダケ
救イヲ待ッテモ 変ワラヌ毎日 壊レチマッテモ 去ヌルダケ

OVERDRIVE 叫ビ続ケ□ 震エル夜ニ

OVERDRIVE 嘆キ続ケ□ 凍テツク朝ニ

1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3

1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3

1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3

1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 毫!

両界曼荼羅 押サレテ揺ラレテ 着替エガ済ンダラ 座ルダケ
芥子ノ実コボシテ 頬張ル菓子パン 石積み上ゲテモ 崩スダケ

OVERDRIVE 叫ビ続ケ□ 震エル夜ニ

OVERDRIVE 嘆キ続ケ□ 凍テツク朝ニ

OVERDRIVE 叫ビ続ケ□ 震エル夜ニ

OVERDRIVE 嘆キ続ケ□ 凍テツク朝ニ